



「自助・共助・公助」

「国民全員に毎月7万円支給のベ
ーシック・インカムを導入すれば、
生活保護が不要となり、年金も要
らなくなる」。慶應義塾大学名誉
教授 東洋大学教授 竹中平蔵氏「B

変えが、ここまで露骨というか稚
拙だと流石に通用しない」と一喝。
「国会で初めて取り上げた田中康
夫に（衆議院予算委員会2010
年2月26日）ベーシック・インカ
ムを訊かず、竹中平蔵案を呑むな
どインチキ新興宗教の教祖に光速
の不可思議を尋ねるが如し」との
反応もSNS上に。

「あの時に厳罰に処しておけば」
と日本政策投資銀行設備投資研究
所政策顧問だった宇沢弘文翁が慨
嘆し続けた「同僚研究者の論文盗
用・剽窃事件」の竹中平蔵話法で
意訳すれば「皆さん、7万円です。
後は全部、自助で宜しく」。

名は体を表す。「ネオリベ」シ
カゴ学派の権化ミルトン・フリー
ドマンが唱えたBI「負の所得
税」は、給付金としての「切り捨
て型」最低限所得保証。故に竹中
発言は炎上し続けているのです。

他方、「生きとし生ける物」は
神の顕現だと神と宇宙、神と自然
の「汎神論」を説いたバールー
フ・デ・スピノザ研究で知られる
アントニオ・ネグリは経世済民な
「地球人手当」グローバル・ベー
シック・インカムGBIを提唱。

SNSには早速、「昔懐かしき

なんちゃって小泉・竹中へなち
よこ改革。番頭さんの7万円ポツ
キリBIはフェイク・ベーシッ
ク・インカムFBIで決定だ」と
寸鉄人を刺す投稿が登場。

参議院から衆議院に転ずる20
09年総選挙の前から僕は、「国
民配当」としてBIを捉えるべき
と述べてきました。生まれたばか
りの赤ちゃんからお爺ちゃんお婆
ちゃんまで、誰もが「国民」とし
て社会に参加しています。ならば、
その構成員に配当を与える、株式
と同じ発想こそ真つ当なBI。そ
の上で、同じスタートラインに立
つのが困難な、障碍や難病と向
き合う方々に社会保障の手立てを
講ずる「積み上げ型」「基本所得
保証」を構築すべき。

独占禁止法違反の強欲資本主
義と化していた「株主資本主
義」。ロシアや中国も一部の既得
権者が潤う「国家資本主義」。
我々が資本主義や高度消費社会か
ら逃れられないならば、その中で
如何に人間の相貌と体温を持った
経済や社会にしていくなか。それこ
そが政治の役目。より良き「公益
資本主義」の再構築を目指す動き
が企業家の間でも顕著な欧米です。

自身が取締役会長を務めるパン
ナグループの「既得権益」を死守
すべく羊頭狗肉な「シヨック・ド
クタリン」を巧言の、利益相反な
御仁が跳梁跋扈する日本と異な
り、フィンランド、デンマーク、
スペイン、カナダ等が続いてドイ
ツと韓国でも真つ当なBI導入が
実現する機運の昨今。「財源」的
にもBIが導入可能と詳述した当
連載2017年のV0144「ベー
シック・インカム」を始め、小生
HP「国民配当」まとめサイト動
画・拙稿等を乞う閲覧。

翻ってニッポンの「自助・共
助・公助」。不毛な二項対立・三
項対立の概念で「自助でやれ」
「公助が先だ」と政治家も学者も
マスコミも国民も口角泡を飛ばす
始末。呵々。自助・共助・公助を
同時並行で行つてこそ相互扶助の
コミュニティ。福祉・医療・教育
のみならず道路建設という公共事
業も単体では採算が取れないから
こそ「公助」で税金を投下するの
です。而して沿道の花壇を「共
助」で維持し、自宅前のゴミを
「自助」で清掃。その当たり前過
ぎる「真つ当」な発想が令和ニッ
ポンには欠落しています。

★次号二月号の発行日は2020年10月。